

(4)免状の交付

平成18年度の火薬類保安責任者免状交付件数は、表3のとおりである。

表3 火薬類取扱(製造)保安責任者免状交付件数
(平成18年度)

免状種別	免状交付	免状再交付	免状書換	計
甲種取扱保安責任者	28	4	0	32
交付数累計	3,976			
乙種取扱保安責任者	7	0	0	7
交付数累計	3,414			
丙種製造保安責任者	1	0	0	1
交付数累計	36			
計	36	4	0	40
交付数累計	7,426			

- 甲種取扱・・・火薬庫において火薬を貯蔵する場合、火薬類の消費場所(発破現場など)において火薬類を消費する際に、法の規程に基づいて種々の保安に関する職務を行う。
- 乙種取扱・・・甲種と乙種とは、火薬類の貯蔵合計量(乙種は年間に20t未満に限定)又は消費合計量(乙種は1ヶ月に1t未満に限定)により、火薬類取扱保安責任者への選任資格が異なる。
- 丙種製造・・・煙火等の製造数量が1日300kg未満の製造工場で火薬類製造保安責任者の選任資格を有する。

(5)立入検査等

- 火薬類消費場所等に立入り、「火薬類の保安管理、取扱基準の遵守」及び「盗難防止設備等の維持管理」の状況を検査するため、立入検査を行っている。
- 火薬類製造施設及び火薬庫について、その位置、構造及び設備等が技術上の基準に適合しているかについて保安検査を行っている。

平成17年度に実施した検査件数は、表4のとおりである。

表4 火薬類保安検査等実施件数(市町村に権限委譲)
(平成18年度)

	煙火製造所	火薬庫	販売所	消費場所	火薬庫外貯蔵所	計
立入検査	5	34	66	120	31	256
保安検査	4	27	0	0	0	31

(6)各種講習会の実施状況

(社)宮城県火薬類保安協会の主催する火薬類取扱者を対象とした各種保安講習会に講師を派遣し、保安意識の高揚と事故防止の徹底を図った。平成18年度の実施状況は、表5のとおりである。

表5 講習会受講者数
(平成18年度)

講習区分	実施回数	受講者数
火薬類保安講習会(保安責任者等)	9	367
火薬・鉄砲流通保安講習会	2	12
建設用鋌打ち銃・空包取扱者講習会	1	9
計	12	388

(7)火薬類事故の発生状況

平成14年からの火薬類による事故の発生状況は、表6のとおりである。

表6 火薬類事故関係発生状況(経年変化)

年次 区分	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
件数	1	1	0	0	1
死者数	0	0	0	0	0
負傷者数	1	1	0	0	3